

2003年9月17日

マニユライフ生命 2002年度医療給付金支払額上位10例を発表

上位10例のうち4例が200日以上長期入院

マニユライフ生命保険株式会社(本社:東京都調布市、代表執行役社長兼CEO:トレバー・マッシュウズ)は、このたび2002年度(2002年4月~2003年3月)の支払いベースでの、医療給付金額の上位10件の事例概要をまとめました。

医療給付金支払額上位10例

(2002.4~2003.3 支払いベース)

入院日数 ¹	給付金支払額合計 ²	病名	性別	年齢
292日	6,425,000円	肺がん	男性	57
91日	3,880,000円	自律神経失調症	女性	50
133日	3,814,200円	肝細胞がん	男性	52
230日	3,774,600円	脳腫瘍	女性	52
125日	3,750,000円	糖尿病	男性	42
289日	3,600,000円	食道がん	男性	57
236日	3,590,000円	大腸がん	女性	55
66日	3,367,760円	尿管腫瘍	男性	56
133日	3,145,000円	大腸がん	女性	52
142日	2,868,100円	大腸がん	男性	77

*1:入院日数は傷病原因が同一である入院の通算延入院日数です。

*2:傷病原因が同一である入院給付金、手術、成人病、長期、通院等の給付金を合計しています。

表に示されているように、上位10例中、がんによる給付が6例、また、200日以上長期入院を伴う事例が4例を数えました。長期入院を伴うがんなどの疾病治療による大きな経済的負担への対策として、生命保険の有効活用が望まれるところです。

今回の結果について、マニユライフ生命保険株式会社代表執行役社長兼CEO、トレバー・マッシュウズは次のように述べています。

「この給付金支払額実績は、生命保険の給付金による経済的サポートを通じて、当社がお客様の治療期間中の不安を軽減するお手伝いをさせていただいた証しであり、誇りに思います。

当社では、最新のユニバーサル型医療保険『マニユメッド』も7月から販売開始しました。

『マニユメッド』なら保障内容や保険料をお客様のニーズに合わせて合理的に設計できます。たとえば40歳男女の場合、主にガン保障をカバーするプランにより、支払日数無制限の日額1万円の入院給付金、2年以上の間隔で何回でもお支払いする診断給付金、さらに手術給付金、通院給付金、死亡保険金といった保障を終身にわたり、月額約4,500円程度の保険料で得られます。これにより、わたしたちもはお客様の多様な医療保障ニーズにさらに的確にお応えしてまいります。」

マニユライフ生命はカナダに本拠を置くマニユライフ・ファイナンシャル社のグループ企業で世界的な格付け会社スタンダード&プアーズ社から、トップクラスの格付けの一つである「AA+」を取得しています(2003年8月現在)。マニユライフ・ファイナンシャルは、100年以上の歴史を誇り、カナダを本拠とし、世界15カ国・地域で事業展開している金融サービスのリーディンググループです。同社職員、エージェンツ及び販売パートナーの広範囲にわたるネットワークを通じ、お客様に多種多様な保障商品や資産運用サービスをご提供しています。マニユライフ・ファイナンシャルの管理運用資産は2003年6月30日現在1,443億カナダドル(約12兆7,630億円)となっています。マニユライフ・ファイナンシャル社はトロント証券取引所、ニューヨーク証券取引所、フィリピン証券取引所においては「MFC」の銘柄コードで、香港証券取引所では「0945」で取引されています。マニユライフ・ファイナンシャルについての詳細はホームページ(www.manulife.com)をご覧ください。

なお、マニユライフ生命のホームページは以下の通りです。(www.manulife.co.jp)